

小野町ポイ捨て等防止指導員を委嘱

平成25年度から平成26年度までの小野町ポイ捨て等防止指導員の委嘱状交付式が5月29日に行われ、各行政区から推薦を受けた27人の方に委嘱状が交付されました。

ポイ捨て等防止指導員は、空き缶などのポイ捨ておよび犬のふんの放置が町的美観を損なっており、これを防止することにより環境美化を推進し、町民の快適な生活環境を確保することを目的に委嘱され、ポイ捨て防止のための啓発や指導・助言を行います。

委嘱された指導員は次の方々です。



委嘱状交付式の様子

ポイ捨て等防止指導員(敬称略)

阿部 徳夫(本 町)	小泉 俊一(平 館)	横田 宗春(飯豊中)	木村 伸和(南田原井)
折笠 昭典(横 町)	先崎 勝美(谷津作)	国分 強(飯豊下)	渡辺 忠雄(湯 沢)
大方 克夫(仲 町)	遠藤 一男(小野赤沼)	先崎 真弥(吉野辺)	大河原利一(塩庭一区)
横田 久雄(反 町)	小野 公光(菖蒲谷)	宗像 幸一(浮 金)	常恒 貞之(塩庭二区)
大楽 勝男(大 八)	吉田 敬一(雁股田)	村上 親明(小戸神)	駒木根彦次(上羽出庭)
吉田 孝則(荒 町)	吉村 力(皮籠石)	佐藤 信忠(小野山神)	富沢十四二郎(和名田)
鈴木 新一(中 通)	佐藤 英男(飯豊上)	大竹 光雄(夏 井)	

公立小野町地方総合病院からのお知らせ

こつそしょうしょう 『骨粗鬆症』の話

今回は、当病院の整形外科非常勤医師、小山泰朗医師から骨粗鬆症についてお知らせします。

骨粗鬆症は骨が構造的にもろくなり、骨折しやすくなる病気です。圧倒的に女性に多い病気で、閉経を迎える50歳前後から骨量が急激に減少し、60歳代では2人に1人、70歳以上になると10人に7人が骨粗鬆症とされています。これは、女性ホルモン(エストロゲン)が骨の新陳代謝に関わっているからです。

最近では若い方でも偏食や極端なダイエット、喫煙や過度の飲酒、運動習慣などの原因により、骨がもろくなる可能性が指摘されています。骨粗鬆症の原因には、年齢や性別、遺伝的な体質など、変えることのできない要素がありますが、バランスの良い食生活や適度な運動などの生活習慣を変えることで十分改善できます。

ただし、骨粗鬆症の診断がついた場合は薬物療法が必要となってきます。最近新しい活性型ビタミンD、女性ホルモン製剤や、内服しやすく30日に1回飲めば良い薬も出てきています。また骨を直接強くするホルモン注射も出てきていますので、お近くの医療機関で気軽に相談、検査をしてもらいましょう。

整形外科の診療日および受付時間

診療日

①、②、③、④(毎週)

受付時間

午前8時30分から正午まで

